

# IRフェスタに Jトラスト出展



## 5つの成長戦略説明



Jトラスト（藤澤信義社長）では二月十五、十六日の両日にわたり東京国際フォーラムで開催された「東証IRフェスタ2013」（東京証券取引所主催・大阪証券取引所協賛、二日間で二万六千六百八十七人来場）にブースを出展すると共に、

十六日には個人投資家向けのIR会社説明会を行った。同社が会社説明を行った会場は同フェスタの中では最大の規模で、用意された百二十席は個人投資家等で満員の盛況となった。

説明会では同社の篠原敏男広報IR部長が「Jトラストグループの五つの強み」として「機動的なマネジメント体制」、「強固な財務基盤の保持」、「安定した業績の継続」、「有用な経営資源とノウハウの保有」、「キャッシュフローを活かした経営」を上げた後「Jトラストグループの成長戦

略」をテーマに藤澤社長は次のように話した。「当社の保証事業の他社との違いは、銀行と一緒にマーケティング活動ができる点にある。アセットを銀行に売却してそれを保証するという形で保証残高を増やしている。費用対効果の高い銀行の名前でCMを行います。現在東京スター・西京・愛媛・豊和・宮崎太陽・南日本銀行と西側に集中しているが、これにいきます。」

これら保証事業、クレジットカード事業、韓国市場における新たな金融事業に加え、サビサー・不動産事業を五つの成長戦略としています。

藤澤信義社長はJトラストの独自戦略を個人投資家向けに説明した

「強固な財務基盤の保持」、「安定した業績の継続」、「有用な経営資源とノウハウの保有」、「キャッシュフローを活かした経営」を上げた後「Jトラストグループの成長戦

略」をテーマに藤澤社長は次のように話した。「当社の保証事業の他社との違いは、銀行と一緒にマーケティング活動ができる点にある。アセットを銀行に売却してそれを保証するという形で保証残高を増やしている。費用対効果の高い銀行の名前でCMを行います。現在東京スター・西京・愛媛・豊和・宮崎太陽・南日本銀行と西側に集中しているが、これにいきます。」

これら保証事業、クレジットカード事業、韓国市場における新たな金融事業に加え、サビサー・不動産事業を五つの成長戦略としています。